文節

文を自然な発音や意味となる範囲（はんい）でできるだけ短く区切ったまとまりを**文節**という。

〈文〉　鳥が空を飛ぶ。

〈文節〉　鳥が（文節）／空を（文節）／飛ぶ。（文節）

※文に「ネ」を入れて区切ってみるとよい。

文節は、文の中での働きによって、主語・述語・修飾（しゅうしょく）語・接続語・独立語などに分けられる。

①主語・述語

「何（だれ）が」を表す文節を主語、「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある（いる）・ない」を表す文節を述語という。

（例）　鳥が（主語）　／　飛ぶ。（述語）

②修飾語

「何の」「どんな」「いつ」「どこで」「何を」「どのように」など、他の部分をくわしく説明する文節を修飾語という。

（例）　白い（修飾語）　／　鳥が　／　青い（修飾語）　／　空を（修飾語）　／　飛ぶ。

③接続語

文や文節をつなぐ文節を接続語という。

（例）　晴れた。　／　だから、（接続語）　／　外で　／　遊んだ。

④独立語

他の文節と直接は結びつかない文節を独立語という。

（例）　ああ、（独立語）　／　すばらしい　／　景色だ。

確認テスト

(1) 次の文を文節に分け、斜線（しゃせん）（／）で区切りなさい。

庭 で ス ズ メ が 鳴 く 。

(2) 次の①～⑤の各文の――線部の文節の種類を、それぞれ**ア**～**オ**から選びなさい。

① 空に美しい虹（にじ）がかかる。 〔　　〕

② 街に強い風が吹（ふ）いた。 〔　　〕

③ おや、あれは何だ。 〔　　〕

④ 急いだ。しかし、遅（おく）れた。 〔　　〕

⑤ この建物は図書館です。 〔　　〕

ア 主語　**イ** 述語　**ウ** 修飾語

エ 接続語　**オ** 独立語

(3) 例に従って、次の文に含（ふく）まれる主語に＝線を、述語に――線を引きなさい。

（例） 赤い 花が 咲（さ）く。

今日、私は 電車で 博物館に 行った。

(4) 次の～～線部の修飾語は、どの文節を修飾しているか。記号で答えなさい。

私は 昨日、公園で 友達に 会った。

ア 私は　**イ** 昨日　**ウ** 友達に　**エ** 会った

〔　　〕